

横須賀市中小企業景況レポート

第4号（平成25年10月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫が従来から行う、景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団（以下「財団」と表記）がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：182社（うち三浦藤沢信用金庫+湘南信用金庫 調査166社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成25年4～6月の景況感（調査時点 平成25年3月1日）
今期・・・平成25年7～9月の景況感（調査時点 平成25年6月1日）
次期・・・平成25年10～12月の景況感（ ” ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

全業種の景況感は、前期の5Pから6Pとなり、1P改善しました。

業種別では、卸・小売業が△11Pとなり18P悪化してしまいました。

逆に不動産業は前回調査の16P改善に引き続き、40Pの大幅改善となりました。

次期に向けては、今期悪化した卸・小売業が少し持ち直し7P良くなるとみえています。

製造業は、「良い」、「悪い」共に少し減りますが、14Pを維持すると予想されています。

その他の業種は、今期より悪化する見通しとなっています。

全業種の項目別で見ると、売上額を除く全項目で、わずかですが改善されました。

売上額については悪化が1P増加してしまいましたが、ほぼ横ばいの結果となりました。次期も横ばいの予測です。

収益はわずかに3P改善し、6Pとなりましたが、次期は△1Pとなり7P悪化する予測となっています。

また昨年同期との売上額の比較については、「増加」と回答した企業と「減少」と回答した企業それぞれの割合が増えたため、DI値はほぼ横ばいとなりました。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

- | | | | |
|-------------------|---|--------------|---|
| ○良い：15P以上 | ↑ | ○やや良い：6P～14P | ↗ |
| ○変わらない（普通）：△5P～5P | → | | |
| ○やや悪い：△6P～△14 | ↘ | ○悪い：△15P以下 | ↓ |

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

(1) 製造業 14 <やや良い> ↗

景況感は前期より「悪い」という声が大きく減り、DI 値は10P改善しました。

全ての項目で3～9Pの改善がみられましたが、雇用人員については△2となり、少し不足と感じる割合が多い結果となりました。

☆事業者の主な声☆

- ・鉄道会社からの受注が好調で、工場が休みなく稼働している状況である。スポット的な受注もあり、好調が続いている。
- ・既存取引先からの受注増加が売上げ増加の要因。顧客と共同して製品の研究・開発を行っていることが、安定した受注につながっている。
- ・作業工程や従業員のシフトを見直したことで、より効率的になったことから、販売管理費が軽減された。今後はより一層の効率化のため、設備投資も検討している。
- ・同種業者間による競争激化や、製品単価値下げによる利幅縮小の中、ISO 認定を目指し、他社にない製品づくりを目指している。

(2) 建設業 7 <やや良い> ↗

景況感は前期より「悪い」が減少しましたが、「良い」がさらに減少したため、DI 値は2P悪化しました。

項目別では売上額と資金繰りは悪化してしまいましたが、収益と雇用人員は改善されました。

☆事業者の主な声☆

- ・直請けの割合を増やすことを念頭に活動したため、マンション管理組合からの直請け工事が増えてきた。秋以降も大型受注を確保していて、好調を維持している。
- ・消費税増税を見込んだ駆け込み需要があったため、売上げが伸びた。
- ・公共工事を中心に安定した受注を確保できており好調であったが、小口工事が多く人員不足で新規受注確保に支障が出ている。
- ・近距離の現場での仕事が増加し、経費を圧縮できたため昨年並みの売上げを確保できている。
- ・老朽設備の入換えの受注があり売上げを順調に確保できているが、長期工事となり、その間の資金繰りが課題となっている。

(3) 卸・小売業 △11 <やや悪い>



景況感では「良い」が減り、「悪い」が増加したため前回に比べ18P悪化し△11Pとなりました。売上額、収益も同様の傾向で悪化しましたが、人員と資金繰りは横ばいでした。

☆事業者の主な声☆

- ・近隣の競合店舗間での顧客の奪い合い、大型量販店への顧客流出で、売上げが減少している。
- ・小口注文が増加し、販売単価が下がったことで、結果的に売上げが減少した。
- ・ベース関連の受注が減少しているため、売上げが下がっている。
- ・猛暑の影響で来店客数が激減したため、売上げに大きく影響した。
- ・転入者や高齢などによる外出困難な方に対して、電話セールスや郵送を取扱うことで囲い込みを図っていく。
- ・営業に時間を割くことが難しい現状で、新規受注先の獲得が今後の売上げ増加に向けた課題となっている。
- ・猛暑の影響で海水浴客や観光客が増加したため、売上げも上昇した。

(4) 不動産業 40 <良い>



景況感は前回に引き続き、前期より+40Pと大きく改善しました。雇用人員では人手不足感が増加しましたが、その他の項目は全て改善となりました。

☆事業者の主な声☆

- ・ここ1～2年で仕入れた物件が順調に販売されている。
- ・仕入れから販売までの開店を早めて効率的な利益確保を意識している。今後は消費税引き上げを見据えて、市場価値の高い物件を積極的に仕入れていく。
- ・消費税増税前の駆け込み需要について、問合せはあるが、確かな手応えは感じられない。
- ・都市部では既に地価が値上がりしているが、横須賀は大きな変動はない。

(5) サービス業 6 <やや良い>



「悪い」の割合は変わりませんでした。しかし、「良い」が増えたため、DI値が上昇しました。資金繰りは「良い」が微減し、「悪い」が微増したため、少し悪化しました。

☆事業者の主な声☆

- ・低燃費車両の売上げが好調。さらに修理の受注など新規依頼の顧客獲得が出来たことで売上げが伸びている。
- ・知名度が上がってきた上に、景気高揚の影響もあり、県内外からの来客数が増加した。
- ・風評被害が収まり、天候に恵まれたため、飲食・宿泊ともに増加した。しかし、客単価は昨年並みで、景気回復の実感はない。
- ・原油価格の上昇を販売価格に転嫁しているため、売上げは増加している。一方で同業者間の競争激化により利幅は縮小の傾向にある。
- ・政府の景気対策については、中小企業は蚊帳の外を感じる。好景気の波が中小企業に届くのは2～3年後なので、継続的な不況感を感じている。

【特別調査（年1回）】 回答企業数 140社

市の中小企業振興施策への課題・要望をお伺いしました。

【1】〈質問〉貴社にとって事業継続・発展に最も必要なものは何だと思えますか。

- 1 行政の支援施策 **27社** (19.3%)
- 2 金融機関の支援施策 **8社** (5.7%)
- 3 企業自らの努力 **98社** (70.0%)
- 4 その他 **7社** (5.0%)

その他の主なもの

- ・景気回復
- ・メーカー（親会社）からの適正価格での発注

事業者の多くは、自らの努力なくして継続した発展は難しいと考えているようです。

次いで、行政の支援、金融機関の支援を必要としているという結果になりました。

【2】〈質問〉貴社にとって市が力を入れてほしい施策は何ですか。（重要な順に3つまで）

集計は、3つまでに選ばれた項目の票数を総計し、下表にまとめました。

質問項目	製造業	建設業	卸小売	不動産	サービス	合計
1 域内（主に市内）消費需要の喚起・創出 シニアや子育て世代の消費喚起、地産地消の 推進、商店街活性化など	6	11	26	10	21	74
2 域外（主に市外）からの消費需要の創出 食を中心とした集客、宿泊観光の増加、中心 市街地の活性化など	4	5	18	9	14	50
3 官公需施策の推進と行政事務の見直し による仕事量の拡大 発注方法の変更などによる市内発注割合の 拡大、指定管理者からの市内発注の増加など	11	16	17	3	9	56
4 中小企業制度融資の充実 柔軟な融資メニューの創設、信用保証にかか る負担軽減など	22	15	17	5	10	69
5 経営力向上、人材確保などに向けた支援 事業展開・転換や設備投資に関する支援、研 修開催支援、公的認証制度の取得促進など	24	11	10	1	14	60
6 新たな企業の立地、既存企業の再投資へ の支援 事業所新設などの再投資の支援、市有地を含 めた産業用地の確保など	11	6	10	8	8	43
7 創業・事業所の開業の促進 創業の支援による事業所数の増加など	7	0	4	2	6	19
8 その他	0	0	2	0	5	7
合計	85	64	104	38	87	378

＜重要順上位 3 位まで＞

	1 番目の施策	2 番目の施策	3 番目の施策
1 位	1 域内（主に市内）消費需要の喚起・創出 42 社（30.9%）	4 中小企業制度融資の充実 26 社（19.8%）	4 中小企業制度融資の充実 23 社（20.4%）
2 位	3 官公需施策の推進と行政事務の見直し 31 社（22.8%）	2 域外（主に市外）からの消費需要の創出 25 社（19.1%）	5 経営力向上、人材確保などに向けた支援 22 社（19.5%）
3 位	4 中小企業制度融資の充実 20 社（14.7%）	5 経営力向上、人材確保などに向けた支援 24 社（18.3%）	1 域内（主に市内）消費需要の喚起・創出 16 社（14.2%）

市に最も力を入れてもらいたい施策は消費需要の創出という結果になりました。

1 市内の需要創出、**2** 市外の需要創出とも上位になり、多くの企業から必要とされている施策ということが分かりました。

また、**4** 制度融資についても、かなり上位にランクされていることから、より一層の制度の充実が求められていることが分かります。

＜業種ごとの特徴＞

（製造業）

経営力向上、人材確保などに向けた支援が上位を占める結果となりました。

新たな事業展開に対するサポートや、人材の確保育成に対する支援が求められています。

（建設業）

官公需施策の推進と行政事務の見直しによる仕事量の拡大が最優先施策の半数以上を占める結果となりました。

市や指定管理者からの市内発注を今以上に拡大することを望む声が多いことがわかります。

（卸・小売業）

域内、域外の消費需要の喚起・創出が上位となりました。

地域経済の活性化による消費の拡大に加え、魅力ある街づくりにより、集客人口を増やすことで消費を上向かせる施策が望まれています。

（不動産業）

消費需要の喚起・創出が求められています。

横須賀市の街の魅力を上げることで、市内に住む人を増やし、不動産の売買が活性化することが望まれています。

（サービス業）

卸・小売業や不動産業と同様に、需要の喚起・創出が優先施策となりました。

消費を活性化し、街のにぎわいを生み出すことで、さらなる消費需要を喚起することが望まれています。

【3】

〈質問〉具体的に（市に対して）行ってほしい施策等があったらお書きください。

（【2】で8 その他を選んだ時を含む）

〈回答〉

☆事業者の主な声☆

- ・より取り引き先が探しやすくなるように、ビジネスマッチングを業界別に開催してほしい。
- ・発注業者を探せるように、市内業者の紹介する冊子等を作ってほしい。
- ・入札での最低制限価格を引き上げてほしい。
- ・入札での最低制限価格を撤廃してほしい。
- ・規制緩和や、許認可等のスピードアップをしてほしい。
- ・公共工事を増加してほしい。
- ・障害者の就労支援を行ってほしい。
- ・YRPの空きオフィスを貸し出して、情報系の企業に使用させてほしい。
- ・企業向けに災害対策を行ってほしい。
- ・新規採用者やそれに準ずる社員に対する、基礎技術の習得や社会人としてのマナー等の教育を行ってほしい。
- ・高齢技術者からの技術継承のための支援をお願いしたい。
- ・大企業から市内中小企業に発注が増加するような誘導策を行ってほしい。
- ・業界の情報、他企業的情報を発信してほしい。
- ・土地のスムーズな流通のため、地籍調査を進めてほしい。
- ・米軍基地に協力してもらい、横須賀市独自の英語教育を行うことや、インターナショナルスクールの誘致を行ってほしい。
- ・展示会への出展補助を今後も継続してほしい。
- ・展示会で横須賀市がブースを借り上げて、市内企業のPRを行ってほしい。
- ・融資の低利化、長期化および信用保証料補助のさらなる充実を図ってほしい。
- ・住宅建設や購入等に対する補助制度など、定住人口を増加することで地域経済の活性化を図ってほしい。
- ・買い物難民に対して支援してほしい。
- ・消費税増税の影響の緩和策をお願いしたい。
- ・若年層が住みやすい環境を整備してほしい。
- ・横浜横須賀道路の料金を値下げしてほしい。
- ・海上交通の活性化により、人・物の流れを多くしてほしい。
- ・横須賀中央市街地の活性化を図り、魅力ある街づくりを行ってほしい。
- ・高齢化した鴨居地域を活性化させるため、イベントや観光案内の充実をしてほしい。
- ・金融機関等と協力して、西地区の活性化を図ってほしい。
- ・アウトレットモール等の誘致をしてほしい。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成25年4～6月の景況感（調査時点 平成25年6月1日）
 今・・・今期 平成25年7～9月の景況感（調査時点 平成25年9月1日）
 次・・・次期 平成25年10～12月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	182	45	32	42	16	47
今期	182	43	31	46	15	47
次期	179	43	31	45	14	46

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	30	27	22	40	33	30	31	23	16	36	26	20	25	47	36	15	21	15
	変わらず	45	52	59	24	48	54	47	61	58	35	37	56	50	46	57	70	64	70
	悪い(B)	25	21	19	36	19	16	22	16	26	29	37	24	25	7	7	15	15	15
	DI値(A)－(B)	5	6	3	4	14	14	9	7	△10	7	△11	△4	0	40	29	0	6	0
	今－前、次－今	1		△3	10		0	△2	△17		△18		7	40		△11	6		△6
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	29	29	24	38	35	33	28	23	19	33	26	26	19	40	29	19	28	17
	変わらず	45	44	54	24	39	41	56	58	62	41	33	48	43	53	57	62	46	63
	悪化(B)	26	27	22	38	26	26	16	19	19	26	41	26	38	7	14	19	26	20
	DI値(A)－(B)	3	2	2	0	9	7	12	4	0	7	△15	0	△19	33	15	0	2	△3
	今－前、次－今	△1		0	9		△2	△8	△4		△22		15	52		△18	2		△5
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	26	26	23	36	33	30	19	26	19	33	24	24	25	33	29	17	21	15
	変わらず	51	54	53	33	44	42	65	64	62	41	43	48	56	60	57	66	62	61
	減少(B)	23	20	24	31	23	28	16	10	19	26	33	28	19	7	14	17	17	24
	DI値(A)－(B)	3	6	△1	5	10	2	3	16	0	7	△9	△4	6	26	15	0	4	△9
	今－前、次－今	3		△7	5		△8	13	△16		△16		5	20		△11	4		△13
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	14	13	15	13	12	14	16	23	29	12	11	13	13	7	7	15	13	11
	適正	74	78	77	69	74	72	59	61	55	83	85	83	87	86	86	79	81	87
	少ない(B)	12	9	8	18	14	14	25	16	16	5	4	4	0	7	7	6	6	2
	DI値(A)－(B)	2	4	7	△5	△2	0	△9	7	13	7	7	9	13	0	0	9	7	9
	今－前、次－今	2		3	3		2	16	6		0		2	△13		0	△2		2
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	16	18	16	22	23	19	16	23	20	17	20	17	6	13	21	13	9	7
	さほど苦しくない	69	67	71	58	65	69	75	64	70	66	60	63	75	74	72	74	76	80
	苦しい(B)	15	15	13	20	12	12	9	13	10	17	20	20	19	13	7	13	15	13
	DI値(A)－(B)	1	3	3	2	11	7	7	10	10	0	0	△3	△13	0	14	0	△6	△6
	今－前、次－今	2		0	9		△4	3	0		0		△3	13		14	△6		0

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 158社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	71 社	44.9 %	42.6 %
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	39 社	24.7 %	29.1 %
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	48 社	30.4 %	28.3 %
DI値(A)－(B)		14.5 P	14.3 P

